

原子炉利用研究者グループ幹事会 議事録

日時：2026年2月16日(月) 10:30～11:02

場所：Zoomによるオンラインミーティング

出席者（順不同、敬称略）

所外：井川 和代（岡山大学）、北田 孝典（大阪大学）、佐藤 紘一（鹿児島大学）、益谷 美都子（長崎大学）、小林 大志（京都大学）、鈴木 達也（長岡技術科学大学）

所内：櫻井 良憲、高宮 幸一、高田 卓志、木野村 淳、近藤 夏子、渡邊 翼
（事務局）新野 尚子、中山 千代子

議題：

1. 議事録の確認（前回幹事会）
2. 令和7年度事業報告・会計報告
3. 令和8年度予算案
4. 令和8年度活動予定
5. 当グループの今後について
6. 名誉会員の推薦について
7. その他

添付資料：

- 資料1：前回幹事会議事録（R7.8.27開催）
資料2：令和7年決算報告書・会計監査報告書
資料3：令和8年予算（案）
資料4：令和8年度活動予定表（案）議題：

井川代表幹事が司会進行を務め、以下の通り実施された。

1. 前回幹事会議事録の確認（櫻井幹事）

資料1に基づき説明がなされた。意見はなく承認された。1週間内を目途に意見等を募り、特に意見が無ければ議事録を確定する旨の説明があった。

2. 令和7年度事業報告（櫻井幹事）・会計報告（高宮幹事）

事業として6件の研究会補助を行ったことについて説明があった。資料2に基づき会計報告について説明が行われ、益谷幹事から会計監査の結果について適正に実施された旨の報告があった。特に意見はなく承認された。

3. 令和8年度予算案（櫻井幹事、高宮幹事）

活動計画及び資料3に基づき説明が行われた。物品購入についてはKURが止まることによる共同利用者のニーズの変化に答えたものとする、予備費については年間10件の研究会補助を5年間継続できることを想定したものであることについて説明された。これらについて特に意見はなく承認された。

4. 令和8年度活動予定（櫻井幹事）

資料4に基づき説明が行われた。幹事選出選挙及び運営委員会委員・共同利用研究委員会委員の推薦者選出選挙が行われること、研究会補助を実施すること、共同利用に関する物品を購入することに関して説明があった。これらについて特に意見はなく承認された。

5. 当グループの今後について（櫻井幹事）

グループの名称変更に関する説明があった。複合研利用研究者グループなどの提案があった。また、グループの年度の区切り（1～12月）を大学の年度（4月～3月）に合わせてはどうかという提案があった。変更した場合、総会時期の変更も検討している旨説明があった。これらに対し、益谷幹事よりグループ名称として海外にも通用する英語名称があった方がよいのではないかという意見があった。名称については引き続きメール等でも意見を募る。

6. 名誉会員の推薦について（櫻井幹事）

手順（幹事会で承認、本人に確認、総会で承認の順番で実施）について説明が行われた。京大複合研の今年度末の定年退職教員（三澤毅教授、藤川陽子教授）を推薦することが提案され承認された。今回、所外からの名誉会員の推薦はなかったが、対象者がいる場合はメールでも良いので推薦して欲しい旨の依頼があった。

7. その他

その他の議題は特に無かった。

井川代表幹事より閉会の挨拶がなされ、閉会した。

以上